

今月は「逆風下の変革リーダーシップ養成講座」を開催しました。このプログラムは、変化の激しい環境下で戦略と組織の変革を主導するリーダーを育成することを目指し、日米欧のトップビジネススクール教授陣と現役トップリーダーがコラボする、世界に類を見ないリーダーシップ講座です。5日間の講座では、日産をはじめ複数企業の復活や変革ケースが分析され、リーダーシップ要素が理論体系化されます。受講者はそれに基づき自身のリーダーシップ論を築き、志賀さん・ゴーンさんとの直接対話で検証していきます。

米ペンシルベニア大学ウォートン校の教授陣を招聘した今回は、金融、製薬、食品、自動車、輸送、ソフトウェア等々多業界から総勢26名の参加者が集い、“白熱教室”さながらの熱い論議を通じて各々のリーダーシップ論を練り、自身の改革プランを持ちかえりました。



## 《ユシーム教授による“白熱教室”》

「君はIBM会長のルイス・ガースナーだ。君はこれから昨日買収を発表したばかりのロータス社\*に駆けつけ、社員2,200名を前にスピーチを行う。さあ、君は彼らに何を伝えますか？」教授は受講者一人ひとりに問いかけ、答えを導きながら変革リーダーシップを説いていく

\*ロータス社：1995年にIBMに買収された中堅ソフトウェアメーカー



## 《ゴーンCEOとのQAセッション》

「Q:リーダーの資質とは何ですか？」「Ghosn:自分でいくらリーダーだといっても意味はありません。周りに“あなたがリーダーだ”といわれなければならない。リーダーシップとは主観的なもので“この人には魅力がある”と思われること。そして本当のリーダーになれるかどうかは厳しい環境下で一貫して期待を上回る成果を出すことです。」ゴーンさんは受講者の質問に明快かつフランクに答えていく

日産財団は小中学生の科学的思考能力の向上を目的とした「理科教育助成」を実施しています。このプログラムは、神奈川県・福岡県・栃木県・福島県（日産の工場・事業所が所在する市町村）で、地域の教育委員会の協力を得て助成校を決定し助成を行うものです。2年間の活動後、各県の助成校から優れた活動を行った代表校を選び、理科教育賞（賞金50万円）を贈ります。

今月は7月27日新横浜プリンスホテルにて同賞の贈呈式を開催し、代表校を表彰し成果を発表・共有化しました。さらに、そのうちで最も優れた成果を上げた学校を選定し、理科教育賞大賞（賞金100万円）を贈り栄誉を讃えました。



### 《理科教育賞・大賞受賞者と選考委員のみなさん》

**神奈川県横浜市立井土ヶ谷小学校**が理科教育賞大賞を受賞しました。「自然を読み解く表現と学び合い」というテーマで、自然物を教材にしてその本質を読み解く授業研究を行いました。また子供たち同士の学び合いから「学級の知」を導き、科学的理解の過誤を修正する試みも評価されました。



### 《全助成校参加のポスターセッション》

同時に、全助成校の活動ポスターにその場で参加者(教員・教育委員会)が投票して選ぶ「理科教育賞ポスターセッション」が開催されました。理科教育賞を逃したとはいえレベルの高い活動が多く、同点決勝投票を経て、**神奈川県 学校法人 長塚学園 伊勢原八雲幼稚園**が受賞（賞金20万円）しました。